

4 神奈川のみちづくり

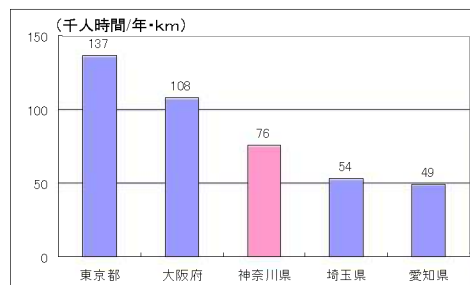


心にゆとりスムーズ道路

指標1-1. 渋滞箇所数 指標1-2. 渋滞損失時間

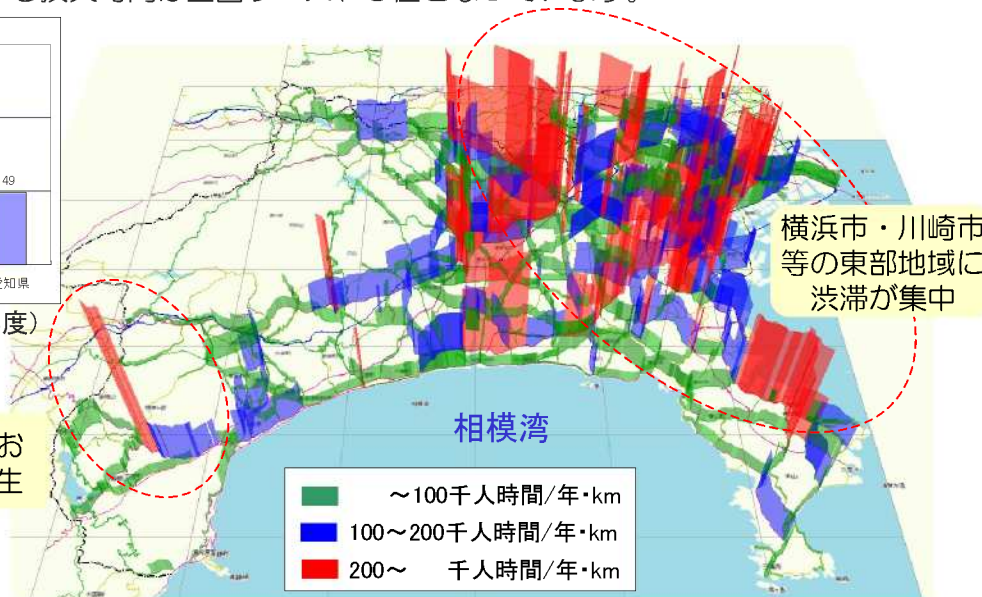
神奈川県は全国ワースト3位です

横浜市、川崎市等の東部地域や箱根等の観光地周辺に渋滞が集中し、渋滞による損失時間は全国ワースト3位となっています。



1kmあたり渋滞損失時間(平成14年度)
(全国ワースト5位)

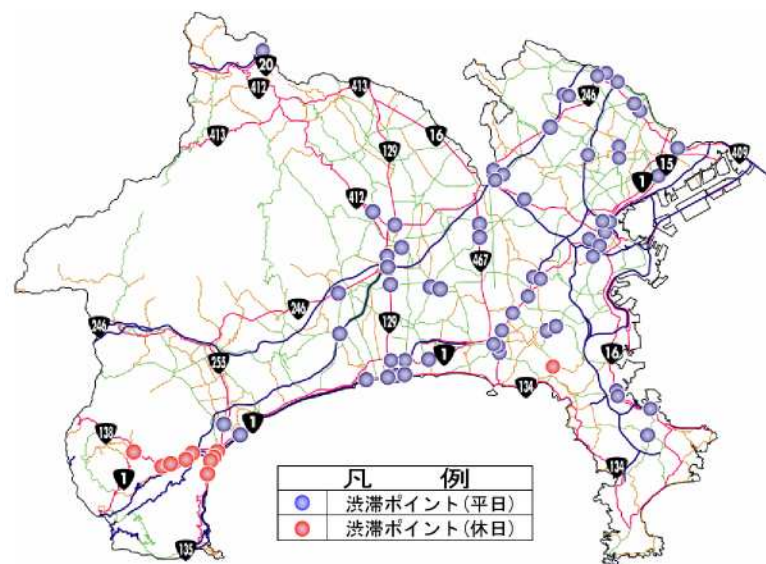
箱根の観光地においても渋滞が発生



1kmあたり渋滞損失時間(平成17年度)
出典:国土交通省資料

■渋滞箇所は県内で69箇所存在

県内の幹線道路では、平日59箇所、休日10箇所の渋滞箇所が存在しています。

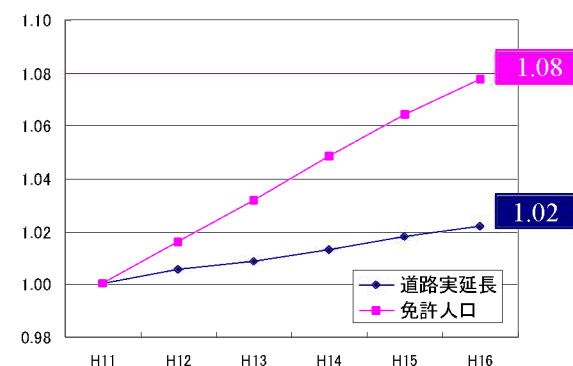


神奈川県の渋滞箇所(平成17年度末)

出典:神奈川県道路協議会資料

■交通需要に追いつかない道路整備

5年間の免許人口の伸びは1.08倍であるのに対し、道路延長の伸びは1.02倍にとどまっています。



神奈川県の免許人口と道路延長の伸び

出典:道路統計年報、交通年鑑(平成17年)

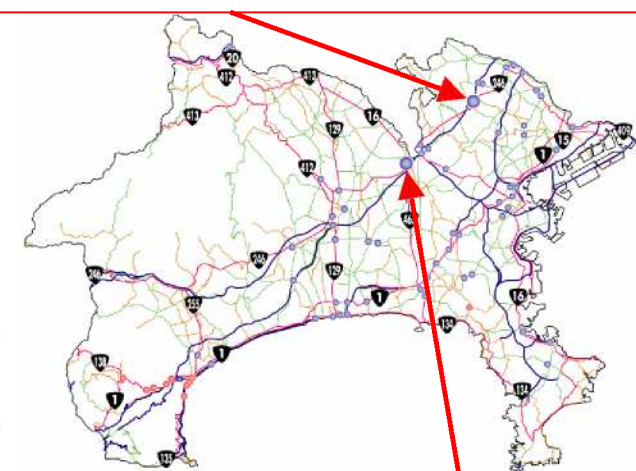


新石川立体等の対策を行いました

【平成17年度渋滞交差点関連事業】

事業名	路線名	主要渋滞ポイント	対策効果
新石川立体	国道246号	新石川交差点	解消
用田バイパス (一部区間暫定2車線)	横浜伊勢原	ごしよみ御所見交差点	事業実施前の状況に比べ大きな変化は見られませんでした
五貫目78号線拡幅 (付加車線の設置)	五貫目78号線	目黒交差点	緩和

◆新石川交差点 新石川立体が供用し渋滞が解消しました。



◆目黒交差点 片側2車線整備により渋滞が緩和しました。





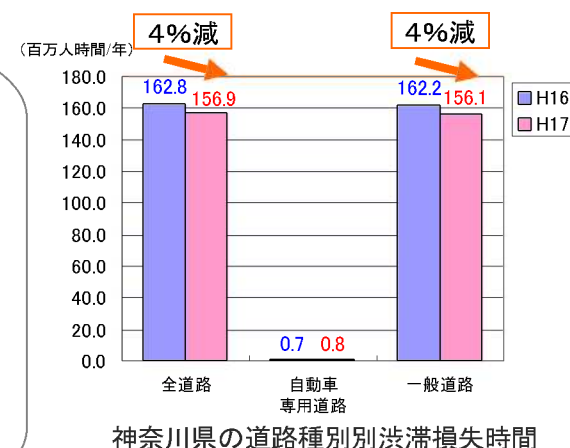
2箇所の渋滞が解消・緩和しました

◆渋滞損失時間の目標を達成しました

新石川交差点と目黒交差点の2箇所で渋滞が解消・緩和しましたが、他の2箇所では緩和までには至りませんでした。

江田駅東交差点については関係機関調整に時間を要し、実施に至りませんでした。

御所見交差点については、並行する用田バイパスが平成17年5月に一部区間で暫定2車線供用しましたが、渋滞解消までには至りませんでした。引き続き全線4車線供用に向け事業を進めていきます。



神奈川県道路種別別渋滞損失時間

成果指標	H16現況値	H17目標値	H17実績値	達成状況
渋滞箇所数	71箇所	67箇所	69箇所	未達成
渋滞損失時間 百万人時間/年	163	158	157	達成

「国道246号 新石川交差点」
立体化され、渋滞が解消しました。

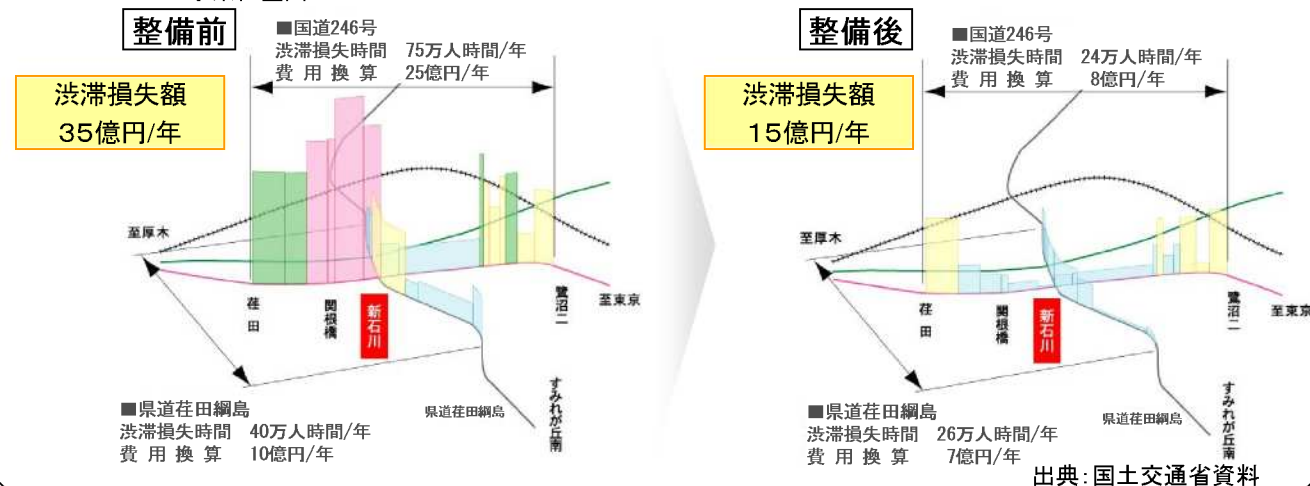
新石川交差点の渋滞が解消⇒経済効果は年間約20億円



事業位置図

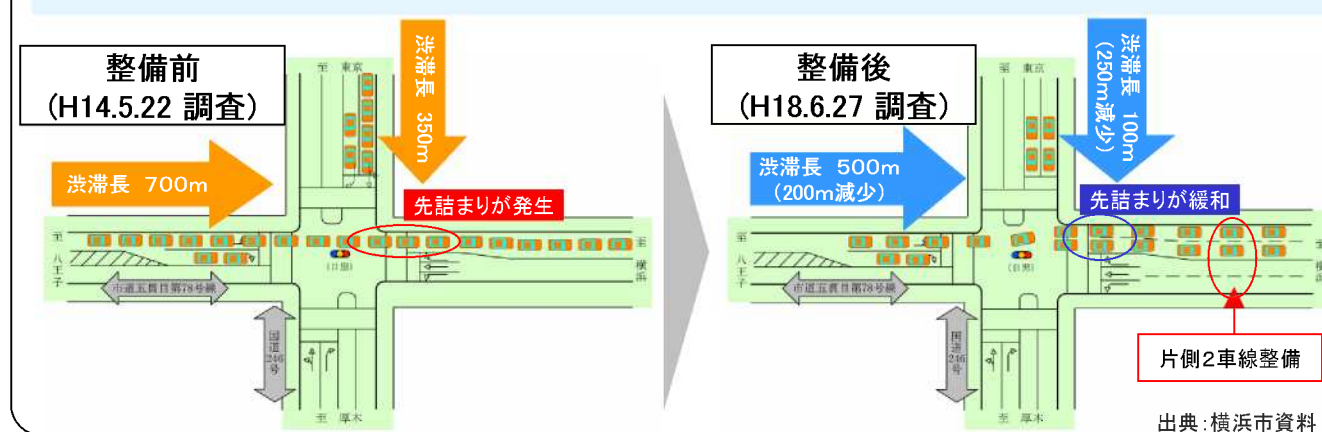


出典: 朝日新聞(平成18年6月27日)



出典: 国土交通省資料

「目黒交差点」 片側2車線整備され、渋滞が緩和しました。
先詰まり渋滞が緩和⇒渋滞長が250m減少



出典: 横浜市資料

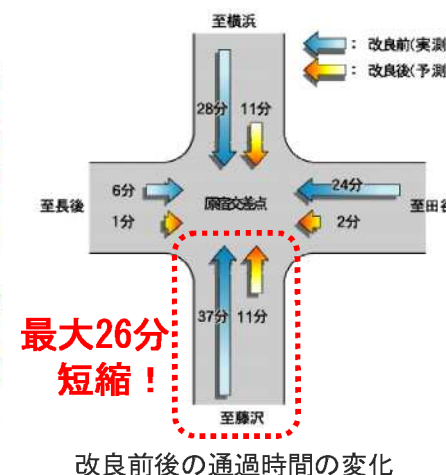


渋滞解消に向けた取り組みを進めていきます

◆交差点渋滞を解消していきます
【原宿交差点改良 立体交差整備】



位置図



改良前後の通過時間の変化



原宿交差点現況



原宿交差点改良事業完成イメージ

出典: 国土交通省資料



今年度も渋滞解消をめざします

◆国道246号江田駅東交差点の渋滞解消をめざします。

成果指標	H17実績値	H18目標値	【参考】概ね10年後
渋滞箇所数	69箇所	68箇所	5割解消・緩和
渋滞損失時間	157百万人時間/年	157百万人時間/年※1	3割削減

※1 渋滞損失時間の平成18年度目標値については、自動車専用道路をはじめとする規格の高い道路の対策が完成しないため、現状維持となっています。